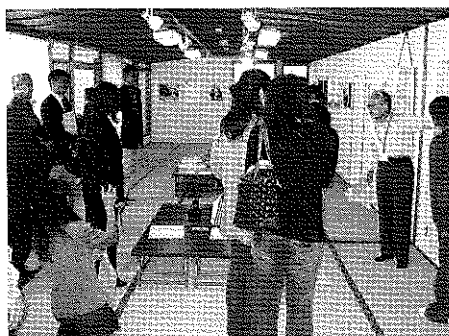


◆糸魚川街なかコレクション

糸魚川が全国に誇る『お宝』といえ、
『ヒスイ』と『相馬御風』。この二つをテーマに、平成18年10月14日から10月29日まで、「糸魚川街なかコレクション」が開催されました。これは、JR糸魚川駅前の商店主や住民でつくる「駅北まちづくり実行委員会（白沢賢二会長）」が企画したもので、糸魚川駅前口の字商店街を中心に、各店舗で陳列した『お宝』を、市民や観光客から鑑賞しながら、まち歩きを楽しんでもらおうという初めてのイベントでした。

今回陳列された『お宝』は、各家で大切に伝えられてきたもので、資料館やフォッサマグナミュージアムの職員も初めて見る『お宝』ばかりでした。

また、今回のイベントがテレビ番組制作会社の目にとまり、あの「開運!なんでも鑑定団」が出張鑑定に来たいという打診がありました。順調に行けば、今年の夏頃に収録予定とのことです。



◆『良寛さま』朗読ライブ



平成18年10月18日、糸魚川市立糸魚川小学校にて『良寛さま』朗読ライブが開催されました。このライブは、御風が昭和5年に出版した『良寛さま』の、美しい文章の朗読と、情緒あふれる音色を奏でる、バンブーサクスの演奏を楽しんでいたかどうかというイベントです。

このイベントは、語りと音楽で魅力あふれる新潟の文化を表現するため、新潟を中心に活動されている「越後語り座」の皆さんを、「知音都市交流カチュウシヤ」の県糸魚川市民の会（永野正司会長）が、当市にお招きして実現しました。

小学校の協力もあり、昼には小学生二百人を、夜には一般八十名を集め、「良寛さま」の素晴らしさを知って欲しいという御風の願いと、良寛の名を世の中に広めた御風の功績を、多くの皆さまに再認識していただきました。

◆相馬御風顕彰

ふるさと短歌大会

平成18年11月23日、ヒスイ王国館において、第七回相馬御風顕彰ふるさと短歌大会が開催されました。大会には、一般の部に六百四十首、中高生の部に八百五十七首の応募がありました。寄せられた作品の中から、入賞作品をご紹介します。今回の選は、一般の部を高野公彦先生、中・高生の部を黒石孝先生、谷澤龍史先生、古田清恵先生、真部旭子先生にご担当いただきました。

一般の部

最優秀賞

上越市 草野 正信

胸越えゆる堅き屋根雪放り投ぐ
豆餅五つを腹に収めて

優秀賞

京都府 田中美枝子

遠き日のように枕を並べ寝る母には
聞こえぬこおろぎ聞きて

東京都 岡部 美穂

達筆な文字で届いた宅急便
父が作ったくの字のきゅうり

青森県 八木田順峰

裏返りときどき渦を巻く蟬に
随分ながく死は訪れず

中・高生の部

最優秀賞

能生中学校2年 笠原 舞華

夕焼けで弁天岩が燃えている
海の底から燃え上がっている

優秀賞

糸魚川中学校1年 船田 悠平

このつくえすこしほろくてくさいけど
とてもれきしがつまってるんだ

糸魚川中学校2年 堀口 梨奈

夏草とトンボもゆれて登下がり
風を感じてふと目を閉じる

糸魚川中学校2年 松澤 淳揮

風が吹き綿毛が空へ旅に出る
新たな命ここに生まれる

糸魚川東中学校3年 渡辺 裕也

梅雨空の終わりを告げる積乱雲
少し似てるよ君の笑顔に

能生中学校3年 磯谷 玲奈

夏祭り母の浴衣を借りて行き
母の想い出わかる気がした